

## 神奈川県立横浜南支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜南支援学校 学校運営協議会 第3回
開催日時	令和8年1月30日(金) 13:45~16:00
開催場所	神奈川県立こども医療センター 講堂
出席者	学校運営協議会委員 7名
問合せ先	副校長 菊地 真由美 TEL 045-712-4074
審議(会議)経過	<p><b>第一部 全体会</b></p> <p>(1) 学校長あいさつ</p> <p>(2) 令和7年度学校評価報告</p> <p>ア 学部・部門、グループからの報告</p> <p>イ 学校評価アンケート実施結果</p> <p>ウ 学校長より</p> <p><b>【協議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な学習を重視している、という点について、所属している福祉施設や病院でも、利用者や患者が直接体験できる行事を工夫して計画・実施している。</li> <li>・ICT機器の活用については中身が大切。1人1台端末は、辞書や定規と同様で、あくまでツールであり、個別最適な学びのために活用しないといけない。子どもたちが思考するように機器を使っていくべき。</li> <li>・学校評価アンケートは実施してよかった。質問の仕方や内容は、今後ブラッシュアップして行ってほしい。</li> </ul> <p>(3) 事務連絡</p> <p><b>第二部 つなぐ支援部会</b></p> <p>前回の報告と現在の進捗状況</p> <p><b>【協議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の学校見学を企画・実施したが、出前授業実施には簡単には結びつかなかった。細く長く丁寧につなげていきたいので、学校とよく確認して続けていきたい。</li> <li>・初めてのことを行うときには、初回うまくいかないこともある。何</li> </ul>

	<p>のために行うのかを確認した上で、回数を重ねることによりよくなっていく。</p>
<p>有識者による評価 (第三者の視点)</p>	<p>●転出入時の学びの継続について        転出入時、児童・生徒の個人アカウントが引き継げるとよい        転入時、iPad等の端末(1人1台端末)を地元校に返却するため、学習、友だち、学習成果物のつながりが途切れている状況である。        現在は、個人アカウントの付与が市町村単位になっており、学びの成果等が引き継げていない。        個人アカウント等を継続して利用できるようにすることは、本校の課題にとどまらず、病弱教育全般にとっての重要な課題だと言える。こうした仕組みを整えることで学びの継続性が高まり、病弱教育の一層の充実につながるだろう。</p> <p>●学校の取組が保護者に伝わりにくい点について        学校HPや学校だよりによる発信の工夫および充実を図るとともに、今後は、保護者へ確実に学校の取組を伝えるために、保護者が子どもと面会する機会を積極的に活用していく。        子どもから保護者へ学習の成果物を渡せるようにし、保護者に学校の取組が伝わるようにする。        そうすることで、保護者にとっても学校の取組が見えやすくなるだろう。</p> <p>●病弱教育の未来について        子どもたちが、探求心を持ち、学ぶ姿勢、学ぶ意欲、知的好奇心を年齢相応にもてるように指導・支援することが病弱教育の学校の意義である。そのため、授業回数や時間ではなく、体験的学びや考える深さや真剣に向き合う姿勢を大事にしていく必要がある。</p>